

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	衣料品専門店（営業・販売）	・固定客からの受注が安定してきており、新規客も順調に増加していることから、先行きに期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・会社関係の商用車、営業車が売れていることから先行きの見込みは明るい。
		住関連専門店（経営者）	・現時点で売上金額にはあまり反映されていないが、来客数に多少の改善がみられ、将来の販売に結びつく期待がもてる。
		都市型ホテル（経営者）	・一般宴会などは予断を許さない状況であるが、宿泊予約については外資系企業の研修等で、多人数での長期滞在の予約などが入っており好調であることから、先行きに期待できる。
		旅行代理店（店長）	・国内旅行は引き続き北海道を中心に好調に推移し、海外は8月出発の受注が動き出している。
		通信会社（経営者）	・一連の新商品が出揃い、購買が僅かでも活発になるとみられる。
		通信会社（経営者）	・新製品が好評のため、徐々に売上増加が見込めそうである。
		通信会社（社員）	・長期的にはマーケットは縮小傾向にあると思われるが、ボーナスの支給や夏の新品販売などの要因で今よりは期待できる。
		遊園地（経営者）	・近郊で同業者が廃業したため、来客数の増加を見込んでいる。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・夏から秋にかけてのホールの稼働日を見ると、コンサートの予約が順調である。ただ、この好調がこれからも維持できるのかについては不透明である。
その他レジャー施設 [球場] (企画担当)	・5月に入り在阪球団の調子が良く、2年前のような優勝争いを行うこととなると来客数、物販売上の大幅増加が期待できる。		
変わらない		百貨店（売場主任）	・秋のヒット商品が見当たらないため、低迷が予想される。
		百貨店（売場主任）	・7、8月のクリアランス商戦は盛り上がりすると予想されるが、現状の慎重な購買行動から、まとめ買いされる客が少ないと予想されるため、売上の大きな伸びは期待できない。
		百貨店（経理担当）	・団塊の世代から少し上の世代の客には、生活をより豊かにしたいという姿勢が不況のなかでも見受けられることから、今の状態は維持できる。
		百貨店（営業担当）	・7、8月に大手スーパーが奈良に出店することにより、食料品や衣料品の販売が苦戦すると思われることから、厳しい状況は続く。
		百貨店（営業担当）	・宝飾品の売行きはさらに落ちると思われるが、一部ブランド品やインテリア商品は伸びる傾向にあることから、今の状況は維持できると思われる。
		スーパー（店長）	・需要が回復しても、同業者による出店増加により供給が増え、厳しい競争が続くと予想される。
		スーパー（企画担当）	・地場産業の梅の生産が前年より1割ダウンする見込みであるため、景気回復は期待できない状況である。
		スーパー（経理担当）	・上昇傾向まではみられないものの、食品を中心に堅調な動きが続くと予想される。しかし他社の出店拡大傾向から、価格競争が再激化する恐れがあり、業績に影響が出る可能性がある。
		家電量販店（営業担当）	・気温の上昇があればエアコン関係の季節商品の動きに期待が持てるものの、基本的には今の厳しい状況が続くと思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・良くなる材料が見当たらない。特にSARS問題の影響は今後も非常に大きいと予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・SARSや北朝鮮問題など簡単に解決できそうにない問題が山積みされていることや、新たに大手銀行へ公的資金投入が行われることから、先行きが懸念される。
		自動車備品販売店（従業員）	・賞与が減額される企業が増えると予想されるため、ボーナスセールを実施しても前年を確保できるか極めて難しい状況である。
高級レストラン（支配人）	・SARSの脅威は払拭されたが、社会的な不安要素は残ることから、先行きの好転には期待できない。		

	一般レストラン（スタッフ）	・SARSの影響が懸念されるが、ピアガーデンの営業が始まったため、夏に向けて少しは来客数の増加が期待されることから、現状は維持できると思われる。
	観光型旅館（経営者）	・レジャー、帰省と客の行動が活発になる時期であるが、SARS問題で行動を控える恐れがあることから、景気の悪化に歯止めがかからないと思われる。
	都市型ホテル（支配人）	・市内のホテルにおける、SARS危険地域からの団体宿泊客の受入れ姿勢によっては、宿泊客の獲得競争が激化する可能性がある。
	旅行代理店（営業担当）	・繁忙期である7月に向けて5月から上昇カーブを描いてなければいけない状況で、先行予約が国内旅行は前年並みである一方で海外旅行が50%という状況では、今後の回復は望めない。
	観光名所（経理担当）	・SARSの影響は海外旅行客の減少にとどまらず、国内旅行にまで影響してきている。回復にはまだまだ時間を要することから、厳しい状況が続く。
	ゴルフ場（経営者）	・新規ゴルファーの参入は着実に減っていることから、厳しい状況が続く。
	競輪場（職員）	・台湾人医師の問題等、何かと暗いニュースが多く、周りに明るい話題がない状態では景気の好転が望める環境にない。
	美容室（経営者）	・閉店した店でも立地条件が良ければ新店舗が入るようになってきている。少しずつ活気が出てきており、今の状況は維持できると思われる。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・夏期講習の予約にそれほど期待できないことから、今の厳しい状況が続く。
	その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・新規投資は銀行の動きをみながら慎重な対応になると思われることから、変化は見込めない。
	住宅販売会社（従業員）	・株の売却益でマンションを購入しようという層が完全に冷え込んでいる。ある程度株価が上昇し、景気が上昇しないとマンションの購入意欲は高まらないことから、先行きには期待できない。
	住宅販売会社（従業員）	・好転の材料が見当たらないが、悪くなる要因も考えられない。また、特にSARSの影響が出るとも考えられない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・近隣に大型スーパーが出店することから、先行きの見通しは非常に厳しい。
	百貨店（売場主任）	・現在は大きな影響は出ていないが、今後はSARSの影響が商品生産、輸入に及ぶと考えられる。具体的には顧客の需要と品揃えができる時期にずれが生じ、売上の減少に繋がる懸念される。
	百貨店（売場主任）	・百貨店の最大の商戦の一つである中元は法人需要の減退などから苦戦が予想され、上期中は売上の起爆剤となる商品が見当たらないことから、先行きが懸念される。
	スーパー（店長）	・景気低迷にSARS問題等が追い討ちをかけ、不安心理が拡大することが懸念される。
	コンビニ（経営者）	・近隣に路上での弁当販売が増えており、今後弁当類の売上に影響が出ると懸念される。
	コンビニ（店長）	・SARS問題等で景気の回復にはまだ時間がかかる。
	衣料品専門店（店員）	・7、8月は通常売上が伸びる月なのでセールを行う予定であるが、現状の販売不振からすでにセールを前倒しで行っているため、より一層の景気悪化が予想される。
	家電量販店（経営者）	・SARS問題が悪影響を及ぼすと思われることから、先行きの見通しは暗い。
	観光型旅館（経営者）	・SARSの影響で消費者の旅行意欲が低下していることから、先行きには期待できない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・SARS騒動が今後の営業にどの程度影響するのかわは予測が困難であるが、一般の観光客の減少にとどまらず、修学旅行の目的地として選択されなくなったり、アジア地区を中心とした海外からの客の減少が今後も継続すると思われる。
悪くなる	一般レストラン（スタッフ）	・SARSの影響はすでに空港の店舗に出ているが、これから一般の外食産業にも波及すると考えられる。特に安全宣言が出されたとはいえ、関西における台湾人医師の影響やカナダのBSE発生も先行きの暗さを示している。
	都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊はSARS後の回復が見込みにくく、予約率は低いままである。宴会も婚礼一般とも予約状況が厳しいことから、先行きの見通しは非常に厳しい。
	旅行代理店（営業担当）	・近い将来、大手旅行社の中で破綻する企業が出てくる可能性が高いと思われるなど、先行きの見通しは極めて厳しい。

企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・海外からの安価な繊維製品の輸入増加に苦しんできたが、SARS問題により中国からの輸入数量が減少する可能性が出てきており、先行きに期待できる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・航空機部門の落ち込みをカバーするため、有機EL関連商品の受注を新規開拓しつつあることから、先行きに期待できる。
		広告代理店（従業員）	・郊外を中心に大型店の出店が予定されており、広告宣伝の新規売上が見込まれる。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・SARS問題、金融問題と中小企業を取り巻く問題が多く、明るさがみえないことから、今の厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・多品種少量生産のため、コストの対応が困難であることから、厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・SARSの影響で、徐々に製造工程に影響が出てきている。今後さらに広がるのではと懸念している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・相変わらず引合いが低調で、補修程度の仕事を中心になると予想される。今後も売上金額が低調のまま推移すると予想される。
		不動産業（経営者）	・一部のユーザーは不動産価格の底入れが近いとの予測から、収益物件の取得に前向きになっているが、全般的に不動産市場は厳しい状況が続く。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・新規開発が行われている地域があり、読者の増加が期待できるが、これまでの世帯増加に対しての普及率を考えると、大して良くならないと思われる。
	広告代理店（営業担当）	・広告の受注先や従来のクライアントのなかにも目立って良いところはみられないことから、先行きに期待はできない。	
	コピーサービス業（従業員）	・SARSの影響が更に深刻化し、海外旅行はもとより人込みへの外出を避ける人まで増えてきている。日本国内での1人の発症が景気を大きく左右することも懸念されることから、先行きには期待できない。	
	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・広告需要を喚起するような、オリンピックやサッカーワールドカップのようなビッグイベントも当面予定されていないため、マイナス要因ばかりが目立つなど、先行きには期待できない。	
やや悪くなる		化学工業（経営者）	・SARS問題等、不安要素が多く、前向きな発想が出にくいことから、先行きの見通しは暗い。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注減により生産ラインの3分の1を停止し、リストラも行った。さらに悪くなる動きは出ていないが、当面は今よりも受注は落ちることから、先行きには期待できない。
		金属製品製造業（営業担当）	・円高の影響やSARSの影響から、先行きが懸念される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・製造に必要な部品をドイツの企業から輸入しているが、このところのユーロは1年前より30%以上高くなっているため、今後国内での販売が困難になると予想している。取引先の設備投資の停滞とあいまって、先行きの見通しは厳しい。
雇用 関連	悪くなる		
	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・一部製造業で短期的な受注が安定していることから、先行きに期待が持てる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・イラク戦争後の復興資金負担とSARSによる世界経済の被害が浸透していく可能性がある一方で、企業の3月決算及び新卒採用状況が上向いているので、現状水準は維持される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は微増しているが、その中身は業務請負、派遣社員の求人の高止まりであるなど、正社員を希望する求職者とのミスマッチは解消されそうにないことから、今後も今の状況が続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・4月において、管内での企業倒産が例年より2割程度増加し、要因についても販売不振という景気変動要因が突出して多い。また、管内の大手企業から人員整理や部門廃止等でそれぞれ50～60名程度の退職者が発生するなど、厳しい現状が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・就職活動中の学生からも、訪問先の企業からも前向きな話は聞こえないことから、先行きには期待できない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・SARS問題への過敏な反応で、人ごみを避ける傾向が強くなることから消費が低迷すると予想される。また、大手銀行への公的資金投入の件は、中小企業の多い関西には影響が大きいことから、先行きの見通しは厳しい。

	民間職業紹介機関（支社長）	・一部の企業に高い採用意欲がみられるが、全体的には景気動向をつかっている企業が多くなっていることから、先行きの見通しは暗い。
悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・銀行、生保、旅行会社、流通関連、ビルメンテナンス会社等、今まで人を一番必要としてきた企業のリストラが一段と加速している印象から、先行きの見通しは厳しい。